

つばさ

agriculture
communication
magazine

no.131
7月
2021

JA赤城たちばな

<http://www.jaat.net/>



特集 第22回 通常総代会を開催

小学校の5年生が田植えを体験。泥んこになりながら笑顔を見せていました。(詳しくは16ページに掲載)

- Contents/目次
- 女性のページ
- 営農インフォメーション
- 農業指導センター情報
- お知らせコーナー
- シェフ永井のおすすめ
- 読者のコーナー

第22回通常総代会を開催

J A赤城たちばなの第22回通常総代会が5月28日、本所で開かれ、上程された全9議案は原案通り可決されました。

本年におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、総代の皆さまへ「議決権行使書」の提出による書面議決への協力をお願いし、規模を縮小しての開催となりました。

総代会には、各地区から選出された総代450名のうち、本人出席3名、議決権行使書による書面出席370名と過半数を超えたため、定款第41条に基づき総代会は成立となりました。



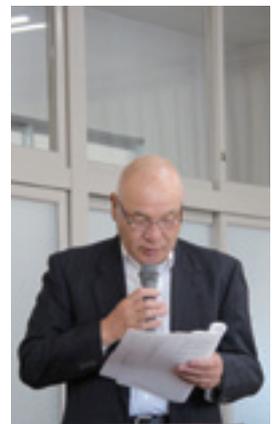
組合長のあいさつ

開会にあたり萩原組合長は「新型コロナウイルスの感染拡大により急速に悪化した世界経済は、昨夏に感染の一时的な収束とともに景気回復の兆しが見えたものの、秋以降、再び感染が拡大しています。また、コロナ禍において、インバウンドの減少や外出自粛、イベントの中止や学校の休校などによる食材の需要変化が、農畜産物の生産・流通等へ大きな影響を与えています。さらに農業者の高齢化や労働力不足、自然災害や鳥獣被害、豚熱や鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の脅威もあり、食料・農業を取り巻く環境は課題が山積んでいます。このような情勢の中、ポストコロナに向けた取り組みが課題となっており、また将来にわたり農業者が経営継続できるような持続可能な農業・農村づくりや、食料安全保障の強

全議案が可決決議された第22回通常総代会



議長を務めた松村桂さん



監査報告する
小林代表監事

化などの取組みが重要と考えています。令和2年度では第8次

中期計画に基づき、昨年5月に

育苗センター、本年2月末に赤

城地区のふれあいの店に続き、

4月下旬には横野支所としきし

ま支所の統廃合が行われ、また、

子会社である(株)グリーンファア

ム赤城たちばなも本年2月末に

解散するなど、当JAにとって

歴史的な一年となりました。今

後は、持続可能で健全な経営を

維持するため、出向く体制の整

備及び相談機能を強化するとと

もに、部門を横断した総合的な

事業転換により、高度化・専門

化する農業者のニーズに適時・

適切に対応していきます」と挨拶

議案

報告事項

令和2年度貸借対照表、損益

計算書、注記表の内容及び附

属明細書並びに会計監査人の

監査報告及び監事の監査報告

の件

第1号議案

令和2年度事業報告及び余剰

第2号議案

金処分案承認の件

第3号議案

令和3年度賦課金の額並びに

賦課徴収の時期及び方法決定

の件

第4号議案

令和3年度における理事及び

監事の報酬に関する件

第5号議案

定款変更の件

第6号議案

規約変更の件

第7号議案

共済規程変更の件

第8号議案

役員選任の件

第9号議案

「JA赤城たちばな『不断の自
己改革』取組宣言』に関する件



JA赤城たちばな 新役員紹介

代表理事組合長…萩原一夫

代表理事常務…大島恵一

常務理事…永井幸一

筆頭理事…都丸一明

理事…青木正好

理事…井上明久

理事…塩谷陽子

理事…下田均一

理事…田中淳一

理事…津久井利章

理事…鳥山薫

理事…根井環

理事…茂木幸雄

代表監事…池田隆政

常勤監事…春田和美

監事…町田勝茂

監事…森芳広



常勤役員のあいさつ



代表理事組合長
萩原一夫

平素より当JAの事業に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、私こと、5月28日開催の第22回通常総代会後の理事会において、代表理事組合長に再任され、その重責を賜りました。

農業・JAを取り巻く環境が厳しさを増す中、将来にわたり持続可能な経営を維持するため、営農経済部門を中心とした収益のアップ、さらにJA経営では安定経営の基盤づくりとして、業務の効率化、コスト削減及び内部統制の強化にも取り組んでまいります。

組合員の皆様には今後ともJAへのご理解とご協力をお願いするとともに、ご健勝とご多幸をご祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。



代表理事常務
大島恵一

組合員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当JAの事業に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私こと、この度の第22回通常総代会並びにその後開催された理事会において代表理事常務に再任され就任いたしました。

昨今の農業情勢やJAを取り巻く環境は非常に厳しさを増しており、重責を痛感しており身の引き締まる思いです。

もとより微力ではありますが、今まで培った経験を生かし組合員・地域住民みなさまに必要とされるJAを目指していく所存でありますので、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



常務理事
永井幸一

組合員皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より当JAの事業に対しましてご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このほど第22回通常総代会において理事に就任、その後、開催された理事会において金融担当常務に選任され、その職責の重さを感じているところであります。

新型コロナウイルス等の影響もあり農業情勢は、益々厳しさを増しています。

今後は、長年経験した職責を活かし、組合員、地域住民に必要とされ、愛されるJA赤城たちばなを目指し、役員一丸となつて誠意努力して行く所存でありますので、今まで以上にご指導、ご協力を賜りますようお願いし、就任にあつたの挨拶といたします。



常勤監事
春田和美

暑さ厳しき折、組合員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度の総代会の役員改選並びに監事会において、常勤監事に再任されました。

前回三年前の就任時は、JAの財務諸表に係る外部監査が中央会から会計士監査に移行する転換期であり、この際、JAに求められる内部統制の整備・確立という課題に対処してまいりました。

今回は、これまで収益の柱であった信用事業において、農林中金預金金利の段階的引下げに伴う経営環境の悪化という課題に直面することとなりました。監事としてもこの課題に対処し、JAの発展および健全性確保のため、尽力していく所存です。

今後とも、組合員・地域の皆様方のご指導、ご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶と致します。



真剣に工作を行う参加者

女性のページ

手芸教室開催 お手軽に便利グッズを

JA赤城たちはばな女性部では、コロナ禍の中でも活動が行えるよう、今年度より目的別グループを6つ立ち上げそれぞれ活動を開始しました。



完成した便利グッズ

手芸グループでは6月3日に、八崎ふれあい館で第1回目の手芸教室を開きました。部員10名が参加し、滑り止めマットでペットボトルのキャップや瓶の蓋を開ける便利グッズを作成しました。

約10cm四方に切ったマットの周りをレース糸で細編みをして花の飾りを付けて出来上がり。コースターにもなるので便利な作品です。

参加者は「思ったより手軽に作れる」「滑り止めマットが蓋などを開ける便利グッズになるとは思わなかった」など驚きを隠せないでいました。

手芸グループでは、JAの支所に配布して、来店したお客様にプレゼントしてもらおうと考えています。

次回は秋頃に、クラフトボックス作りを計画しています。

女性部が花壇作り 花の魅力を発信

JA赤城たちはばな女性部の美化グループは6月12日、部員5名が参加し、JA本所の事務所前にある花壇と、北橋支所のプランターに花植えを行いました。

本所の花壇にはブルーサルビアやロケアなど季節の花4種類が植えられ、花壇を美しく彩りました。また、大きな鉢に植えたカリブラコアは花色が豊富で、白やピンクの小さな花をたくさん咲かせます。草丈も10〜30cmまで成長するので育てばとても見応えのある鉢になります。北橋支所ではベゴニアとコリウスを植えました。

参加者で花壇のレイアウトを考え、可愛い花がいっぱい咲く頃を想像しながら活動を行いました。

「JAを訪れる際にはぜひ、花壇やプランターの花に目を向けてほしい」と笑顔で話しました。



色鮮やかに整備された花壇



花壇に季節の花を植える参加者

美化グループでは今後、地域の清掃活動や、秋の花植えなどに取り組む予定です。



荷造り等を
確認する生産者

営農赤城 たちばな JAフォーメーション

本格出荷を前に
ズッキーニ二目ぞろえ会

赤城橘野菜部会ズッキーニ分科会は5月6日、出荷最盛期を前に、営農生活センターで春作ズッキーニ二目ぞろえ会を開きました。

JAの赤沼担当が、参加した20人の分科会員に出荷規格や荷造り、栽培記録用紙を提出することなどを説明。今年には「ゼルダ・パワー」を主として栽培。細長く成長する品種のため、箱



真剣に説明を受ける参加者

詰めの際は大きさに注意し、同じ大きさで統一するよう指導を行いました。会員は出荷されたズッキーニを見ながら、大きさや形、色つや、キズといった出荷規格を確認しながら意見を交わしていました。

今年は例年に比べ出荷が前倒し傾向となつています。4月下旬より始まった出荷は7月まで続き、前年を上回る133トの出荷を見込んでいます。

赤沼担当は「品質統一に努め、1円でも高く販売できるように市場に働きかけていきたい」と意気込みを語りました。

パプリカの現地研修会 成長や防除を確認

赤城橘やさい部会パプリカ分科会は5月14日、現地研修会を開きました。

会員や県渋川地区農業指導センター、JA担当者ら15人が参加し、午前(北橘地区)・午後(赤城地区)の2部に分け、各会員のほ場を巡回しました。

内山孝美分科会長は「生育はおおむね順調にきている。品質の良いパプリカを生産できるように研修会で勉強していきましょう」と挨拶しました。

県渋川地区農業指導センターの後藤担当は、「今年のパプリカの育苗期は、例年になく暖かかったため全体的に地上部の生育が進んでいる。定植後も外気の温度



パプリカについて
講評する後藤担当

変化が激しく、活着に時間がかかったほ場も見受けられた」と講評しました。また、今後も気温が高く推移する可能性が高いので、着果後の生理障害を回避するためにも根張りを優先した樹作りをお願いしたいと呼び掛けました。

現地研修会は、コロナウイルス感染症の状況をみながら、月1回のペースで収穫が本格的となる7月頃まで開催される予定です。

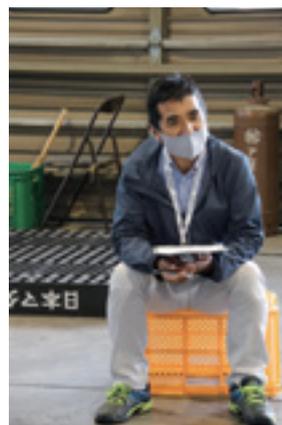


生育状況を確認する参加者

適切な摘果作業を学び 高品質なリンゴ生産へ

赤城橘果実部会リンゴ分科会は5月21日、赤城営農経済センターでリンゴ摘果講習会を開きました。生産者やJA、県の関係者ら10人が参加。悪天候のため、実技講習は行わず講義のみを行いました。

県中部農業事務所の平井一幸



摘果作業について
講義する平井係長

今後の管理などを確認する生産者

園芸指導係長が摘果の目的や準備摘果の重要性、その後に実施する仕上げ摘果のポイントなどを講義しました。兆候を見逃さないよう木の状態を常に観察し記録しておくことが大切と話し、摘果は高品質な果実づくりだけでなく、隔年結果を防ぎ、木の適正な形や強さを保つ重要な作業だと強調しました。また、「5月から6月にかけて気温の上昇とともに、病害虫の発生が活発になるため、先送りにせず早期防除に努めるよう」注意を促しました。

講習会に参加した会員は「実技講習が行えなかったのは残念。摘果作業や病害虫防除をしつかり行い、良質なリンゴの生産へ繋げていきたい」と意気込みを語りました。

赤しそ収穫期を前に 選別方法再確認

赤城橘ソ菜組合は6月7日、営農生活センター内集出荷場で出荷始まりに合わせて、赤しそが目ぞろえ会を開きました。生産者ら22名が参加し、品質確認や出荷基準を再確認しました。

今年度は乾燥と霜の影響で生育の遅れがみられたが、その後の好天と適度な降雨により例年並みの生育となっています。

JA全農ぐんま園芸販売課の榎本担当より市場情勢と今後の見通しについて説明があり、「生梅の出荷最盛期が6月10日頃に迎えることから、赤しその需要も中旬から20日頃までと予想される。そのため、下旬以降は軟調な相場展開になる見込みである」と話しました。

JAの赤沼担当は、赤しそは名前の通り赤い色が重要であると強調し、「葉が軸の下に回り込まないように下葉・切葉は除去し、緑化



荷造り時の注意点を確認する生産者



今後の見通しについて
説明する榎本担当

葉は混ぜない。特に、葉が一袋の2/3以上の重さになるようしてほしい」と選別時の注意点を説明しました。

赤しそは主に梅干し、漬物用、飲料用として使われ、京浜方面を中心に6月末頃まで出荷され、約15トの出荷を見込んでいます。

出荷最盛期に向けて 規格を再確認

赤城橘ソ菜組合は6月7日、営農生活センターでモロヘイヤの目ぞろえ会を開き、組合員をはじめ、JA職員やJA全農ぐんま担当者ら28名が参加しました。

JA全農ぐんま園芸販売課の榎本担当が販売情勢などについて説明。

「6月に入り本県産はやや生育が遅れており、出荷量が減少し高値で推移している。しかし7月以降は、露地物の出荷も始まり、天候しだいですが、昨年並みの出荷量と相場に戻るであろうと予想される」と今後の見通しを報告しました。

JAの赤沼担当は、出荷形態や規格、荷造り方法などを丁寧に説明。特に「サヤには毒性を有している可能性が高いため、調整の際に必ず除去をすること。また、袋詰めの際は、トロッケの原因になるので葉を濡らさないよう雨の日の収穫は避ける



出荷規格を確認する生産者



荷造り時の注意点を説明する赤沼担当

など気を付けてほしい」と注意を促しました。

モロヘイヤの出荷は5月から始まり、6月下旬～9月中旬にピークを迎えます。

高値販売目指し エダマメ目ぞろえ会

JA赤城たちはなは6月18日、本格出荷を前に出荷規格を確認し品質の統一を図ろうと、営農生活センターでエダマメの目ぞろえ会を開きました。管内の生産者12名が参加。

JAの赤沼担当が出荷規格を説明。「早朝収穫や、鮮度を保つために低温で速やかに流通させることが必須」などと話し、「黄色に変色しているものやしみがあるもの、異物混入はクレームの対象になるので気を付けてほしい」と注意を促しました。

JA全農ぐんま園芸販売課の榎本担当が市場情勢を報告しました。

本会終了後も、より良いエダマメを出荷しようと生産者同士で選別・荷造り方法や雑草対策など意見交換を行いました。

今年度は、生産者13人が「味風香」などの茶豆風味系品種を約16畝栽培し、9月末までに長野方面や京浜地区を中心に約26トンの出荷量を見込んでいます。



▲規格を確認する生産者(上)
◀熱心に意見交換を行う生産者(左)



農業指導 センター 情報ター

特定外来生物 クビアカツヤカミ キリに注意！

クビアカツヤカミキリは、サクラやウメ、モモなどの木に産卵し、幼虫が樹木の内部を食い荒らす外来昆虫です。

日本国内では、平成24年に愛知県で初めて成虫が確認され、年々生息域は拡大しています。

群馬県内では平成27年に館林市のサクラで、平成29年に県内東部地域のモモ、スモモ、ウメで、令和2年には県内中西部地域でも新たに確認され、周辺地域へ広がる懸念されています。

平成30年1月に環境省の特定外来生物に指定され、飼育や販売等が禁止されています。生きのまま持ち運ぶことは違法となります。

〔クビアカツヤカミキリの特徴〕

中国大陸原産のカミキリムシ科の昆虫で、その名の通り、首（正確には胸部）が赤く体はつやつやした黒色です。体長は20〜40mmくらいの大型の昆虫です（図1）。幼虫は樹木内で2〜3年かけて成長し、蛹になります。成虫は6月〜8月頃に発生し、樹に産卵します。



図1 クビアカツヤカミキリの成虫

〔被害の様子〕

孵化した幼虫は、樹に食入し、2年目の幼虫は驚くほど大量のフラス（木くずと糞が混ざったもの）を排出します（図2）。フラスは、かりんとう状のものからおがくず状のものなどいろいろなタイプがあり、幼虫の被害が進行すると、その木は枯死します。

〔防除対策〕

①成虫を発見した場合

・被害の拡大を防ぐため、その場で駆除してください。

②フラスを発見した場合
・登録農薬を幼虫の食入孔にノズルで噴射し、駆除してください（表1）。
・フラスが出ている樹には、ネット（目合4mm以下の防鳥ネットなど）をかけて成虫の拡散を防ぎ、成虫を捕殺することが重要です。



図3 幼虫の食害で枯れた木の断面



図2 幼虫の食害で排出されたフラス

〔被害樹への対応〕

被害が進行すると、農薬が効果づらくなり完全な駆除が困難となります。また、枯れた樹は、倒木などで人がけがをするおそ

表1 対象樹種に使用できる農薬（令和3年2月現在）

| 薬剤名 | 使用方法 | もも類 | 小粒核果類 |
|------------|----------------------|-----|-------|
| オリオン水和剤40 | 散布 | ○ | ○ |
| スプラサイド水和剤 | 散布 | ○ | ○ |
| アクタラ顆粒水溶剤 | 散布 | ○ | ○ |
| ダントツ水溶剤 | 散布 | ○ | ○ |
| モスピラン顆粒水溶剤 | 散布 | ○ | ○ |
| ハチハチフロアブル | 散布 | ○ | |
| テツパン液剤 | 散布 | ○ | |
| スプラサイドM | 樹幹部及び主枝に散布 | ○ | |
| ロビンフッド | 樹幹・樹液の食入孔にノズルを差し込み噴射 | ○ | ○ |

れがあり、クビアカツヤカミキリの発生源にもなってしまうため、伐採する必要があります。

〔情報提供のお願い〕

身近な公園や並木のサクラ、モモやウメなどバラ科の樹木にフラスが出ていないか、株元を見てください。「怪しいな」と思った樹木には印を付けておき、フラスの排出が多くなる5月以降、丁寧に確認してください。

クビアカツヤカミキリの成虫を発見した場合は、その場で駆除し、渋川市環境政策課まで連絡してください。

（中部農業事務所 普及指導課

園芸指導係 平井一幸）

支所統廃合 赤城支所が誕生

4月26日、当JAは経営基盤強化と業務の効率化を図ることを目的に、横野支所としきしま支所を統合し、新たに「赤城支所」が誕生しました。

1つの支所に職員を集中させ、専門性の高い職員を育成することで、組合員・利用者のさまざまな相談に応じられる体制を作ります。

今後「JA赤城たちばなで良かった」と思っていただけるよう、より多くの組合員・地域の方にご満足いただけるサービスを提供を、コロナ禍における新しい生活様式に対応しながら目指します。



先進事例コンテスト 最優秀賞受賞

6月15日、令和3年度JAバンク群馬推進大会が前橋市亀里町のJAビルで開かれしました。

同大会で、今年度から県下各JAの独自の優れた取組みを共有する先進事例コンテストが開催されました。当JAから金融課の今井係長が出演し、JA自己取引に「法人ネットバンク」を導入し事務の効率化を実現した取組みを発表しました。課題認識・取組み効果などの観点から審査が行われ、当JAが見事最優秀賞に輝きました。



JAの取組みをプレゼンする今井係長

パイプハウスリース 希望者を募集

地域の推進品目を中心に生産拡大を図る方を対象に、パイプハウスの導入を支援します。群馬県の補助事業を活用したJAのリース事業です。募集内容は次のとおりです。

●対象品目
ハウレンソウ、モロヘイヤ、パプリカ、その他の軟弱野菜

●利用条件
当JAの正組合員

赤城町、北橋町で耕作する方
3ヶ以上の規模拡大をする方
(建て替えは対象外)

●利用期間
契約書に基づき10年

●申込期限
令和3年8月末

●申込み・問い合わせ先
農産園芸課 星野

☎0279(52)2116

※群馬県の審査で認定された場合を対象とし、令和4年度事業として実施します

津久田小学校2年生 社会科見学でJA訪問

津久田小学校の2年生は6月23日、社会科見学の一環として赤城営農経済センターを訪れました。

児童たちは、JA職員に元気いっぱいにあいさつすると、赤城営農経済センターの神尾担当からJAの概要や購買・販売などJAの仕事の説明。その後、センターやふれあいの店、支所などを見学しました。

児童からは「どうして、たくさん機械があるのですか」「JAに出荷される野菜の種類はどれくらいですか」など熱心に質問をしていました。



アンパンマンと記念撮影

ツマジロクサヨトウにご注意ください

1 ツマジロクサヨトウとは

ツマジロクサヨトウはアメリカ大陸原産のヤガ科の害虫です。近年、アフリカからアジアで分布を拡大し、飼料用トウモロコシに大きな被害を出しています。令和元年7月に国内で初確認されました。群馬県でも令和2年8月に初確認されました。

2 群馬県での被害の状況

令和2年9月に飼料用トウモロコシでツマジロクサヨトウの被害を確認し、その後の調査で県平坦部の広い範囲の飼料用トウモロコシで被害が確認されました。

本年の飛来は昨年よりも早くなっています。本年の初飛来は、昨年より2か月早い6月10日に確認されました。7月中旬頃にまだ若い葉があるようなスイートコーンの作型でも注意が必要です。

3 海外と国内の様子

ツマジロクサヨトウの幼虫は広食性で、海外ではトウモロコシ、ソルガム、イネ、野菜類等、

80種類以上の農作物に被害を与えています。国内では飼料用トウモロコシを中心に、ソルガム、スイートコーンなどへの寄生が確認されています。

4 防除方法

ツマジロクサヨトウに登録のある農薬で防除します。生育が進んだ飼料用トウモロコシ等で農薬の散布が困難な場合は早期収穫を行います。

収穫後の残渣や土壌中に幼虫やさなぎが残存している可能性がありますので、速やかに複数回耕耘します。

図1 ツマジロクサヨトウ幼虫の特徴 (写真提供 群馬県農業技術センター)



この部分の刺毛基板(黒い所)が大きい
網目模様
白または淡色の逆Y字

図2 飼料用トウモロコシでの食害痕



- 参考/群馬県農業技術センター 令和2年度 病害虫発生予察特殊報 第1号 ツマジロクサヨトウ https://www.pref.gunma.jp/07/p142_00081.html
- 参考/農林水産省 ツマジロクサヨトウに関する情報 https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html

クミアイガス通信

ガスコンロ

入替キャンペーン

ビルトインコンロ

Rinnai Mytone
RS31W27U12DGWV
希望小売価格180,400円(税込)

特別価格 **¥90,000** (税込)
標準取付工事費別

テーブルコンロ

▲クリームベージュ/クリームトーン RT64JH7S2-C

▲ブラックブラクトーン

Rinnai スタンダードタイプ
RT64JH6S2-GL/R
希望小売価格49,280円(税込) 幅59cm

特別価格 **¥23,500** (税込)

揺れピタ 震度4以上の揺れで消火

付属品 **Cocotte Plate**

ココットプレートでラクラク調理

▲直火が届く、だから美味しい! ▲油が飛ばない、だからキレイ!

お問合せ先 **ふれあいの店北橋店** **TEL.0279-52-2104**

休日・夜間 緊急連絡先

●通帳、キャッシュカードの盗難、紛失
JAバンク群馬
キャッシュカード紛失共同受付センター
☎ 0120-25-4422

●交通事故(=自動車共済の事故受付)
JA共済事故受付センター
☎ 0120-258-931

●LPガス切れ・故障
JAあんしんセンター
☎ 0120-182-571

●葬祭に関する連絡先
ふれあいの店北橋店 TEL.0279-52-2104
ふれあいの店赤城店 TEL.0279-56-2325



休日相談会 開催!!

ローン、相続、
自動車共済、
生命共済など

お電話または
窓口にて
ご予約受付中

JA職員が、ご相談にお答えします。お気軽にご来場・ご相談ください。

| | |
|------|--|
| 開催日 | 7月25日(日) 8月22日(日) |
| 開催時間 | 9:00~16:00 |
| 開催場所 | 北橋支所 ☎0279-52-2103 赤城支所 ☎0279-56-2301 |

5月末のJA報告

| | |
|----------|---------------------------|
| 組合員総数 | 3,497人 (うち正組合員 1,987人) |
| 出資金総額 | 5億 4,394万円 |
| 事業実績 | |
| 貯金総額 | 341億 8,430万円 |
| 貸出金総額 | 60億 5,221万円 |
| 長期共済保有額 | 97億 9,911万円 |
| 農畜産物販売総額 | 11億 2,178万円 |
| 購買品供給総額 | 5億 2,107万円 |
| 自己資本比率 | 17.25% (令和3年2月末現在) |

理事会だより

第5号議案 信用事業手数料変更の件

第4号議案 令和2年度期末監事監査の指摘事項に対する改善対応策決定の件

第3号議案 令和3年度における理事の報酬配分決定の件

第2号議案 令和2年度業務報告書提出の件

第1号議案 令和3年度仮決算方針決定の件

協議事項(6月2日)

第6号議案 固定資産取得の件

第5号議案 購買業務規程変更の件

第4号議案 参与設置規程変更の件

第3号議案 「FinTech企業等との連携及び協働に係る方針」変更の件

第2号議案 役員賠償責任保険の契約締結の件

第1号議案 第22回通常総代会提出議案承認の件

協議事項(4月23日)

第22回通常総代会提出議案承認の件

役員賠償責任保険の契約締結の件

第2号議案 役員賠償責任保険の契約締結の件

協議事項(4月23日)

第22回通常総代会提出議案承認の件

退職者 田中 彩美
お世話になりました

JA葬祭事業の お知らせ

安心と信頼を
モットーに
真心をこめて
お手伝いします。

■指定店
・ギフトショップイノ・須田葬祭
・さいとう典礼

●24時間受付対応電話番号
TEL.0279-52-2104
TEL.0279-56-2325

組合員の皆さまへ 異動手続きについてお願い

組合員皆さまの住所や氏名、組合員資格に変更があった場合は、変更手続きが必要になります。お心当たりのある方は、最寄りの支所にご相談のうえ、変更手続きをお願いいたします。





シェフ永井のおすすめ



エビ春巻き エスニックソース

作り方

- (1) むきエビから片栗粉までの材料をボウルに入れてよく混ぜてあんを作る。
- (2) 春巻きの皮を広げて、あんを巻き上げて、皮の縁にのりを付けてとじる。
- (3) サラダ油を160度に熱し(2)をきつね色に揚げる。
- (4) (3)を器に盛り付け、レモン・パクチー(材料外)を添え、エスニックソースの材料を混ぜ合わせ、別の器に入れて添えて出来上がり。

材料(3人分)

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 春巻きの皮(小) ……6枚 | ごま油 ……小さじ1 |
| あん | 砂糖 ……小さじ1/4 |
| むきエビ(包丁で粘りが出るまでたたく) ……120g | ナンプラー ……小さじ1 |
| タケノコ水煮(みじん切りして湯通しする) ……60g | 片栗粉 ……小さじ1 |
| 青ネギ(みじん切り) ……大さじ1 | のり(小麦粉1:水2) ……適宜 |
| ショウガ(みじん切り) ……小さじ1 | サラダ油 ……適宜 |
| 塩 ……小さじ1/4 | エスニックソース |
| こしょう ……少々 | マヨネーズ ……大さじ1 |
| しょうゆ ……小さじ1 | ナンプラー ……大さじ1 |
| | レモン汁 ……大さじ1 |
| | 豆板じゃん ……小さじ1 |

タコの エスニック炒め

材料(2人分)

- | |
|--------------------|
| 蒸したコ(ぶつ切り) ……120g |
| キュウリ ……1本 |
| ダイコン ……1/8本 |
| トマト ……中1個 |
| セロリ ……1本 |
| ニンニク(みじん切り) ……小さじ1 |
| タカノツメ ……3本 |
| オリーブ油 ……大さじ1 |
| 白ワイン ……大さじ1 |
| 塩・こしょう ……適宜 |
| 砂糖 ……小さじ1 |
| ナンプラー ……大さじ1 |
| レモン汁 ……大さじ1 |

作り方

- (1) フライパンにオリーブ油、ニンニク、タカノツメ、タコを入れ弱火で香り移しながら3~4分ほど炒める。
- (2) (1)に白ワインと食べやすい大きさに乱切りした野菜類を入れる。塩・こしょうを振り、砂糖、ナンプラーを入れ2分ほど強火で炒める。火を止めてレモン汁を入れる。
- (3) (2)を器に盛り付けて出来上がり。



永井智一(ながい・ともかず)
茨城県笠間市にある
「キッチン晴人(ハレジン)」
オーナーシェフ



読者

コーナー

みなさん、
いっしょに
楽しみましょう。

あなたの俳句 お待ちしております。

【投句の記載事項】

俳句(漢字にはフリガナをつけ、楷書で記入)
郵便番号/住所/氏名(俳号併記)/年齢/電話番号

【投句方法】

- ・ 最寄りの支所窓口へ
- ・ FAX: (0279) 56-4152
- ・ e-mail: tsubasa@jaat.jagunma.net
- ・ 郵送: 〒379-1124 渋川市赤城町滝沢64-2

【投句先】

JA赤城たちばな 企画管理課

【締め切り】

令和3年8月5日

俳句

選者 狩野 忠史

髭剃って筍飯の膳につく

大友 龍子

評 コロナ禍のため、外出も少なく男性諸兄は髭などお構いなしの生活であるが、この作者は髭を剃って膳についたと云う。何か特別な日の食事と思われる。結婚記念日か誕生日か色々想像が広がるのも俳句の楽しみだ。外食も良いが、身ぎれいにして戴く筍飯は最高。

苺熟る「待ってました」と鴉二羽

角田美枝子

評 この苺は露地栽培。樽の苺園は全てハウス栽培なので鴉に取られる事は無い。太陽を浴びた露地物が美味しいと云う人も居る。この作者は苺が成熟するのを楽しみにして居たにちがいない。しかし鴉に先を越された。鴉は完熟した苺を食い逃げ。残念無念。

仏法僧の悼む忠治の処刑跡

長岡 和恵

評 吾妻の江戸の関所から倉淵への途中の忠治地蔵のある所と思われる。忠治はやくざ者の反面、義に厚い所があったと云われるので仏法僧が鳴いて忠治を慰める、と云う句意であるが、調べるに「ツッポウソウ」と鳴くのは木葉木菟であることを付け加えたい。

春先やのんびりと食む牧の牛

狩野 榮子

手解きを受ける折紙星涼し

佐藤 勝子

囀りや畑仕事の捗りぬ

佐藤 満子

大木に鳥の騒ぐや若葉冷

新藤 弓子

母の日や樟脳匂ふ桐箆筍

高桑ひろみ

久々に訪ねし生家昭和の日

森田はるみ

山百合やぐんぐん伸びる孫の丈

諸田みね子

ぼうたんの夕べの雨の重さかな

高橋 初江

声高に追ひかけらるるシャボン玉

諸田 夏江

まだ続くコロナの恐怖梅雨激し

高橋 絹江

子供の日息の続かぬ鬼ごっこ

岩崎 恵子

どうだんや白き小鈴を風揺する

狩野ミエ子

山盛りの千切りキャベツ郷の味

松岡 悦子

コロナ禍の軒を掠める夏燕

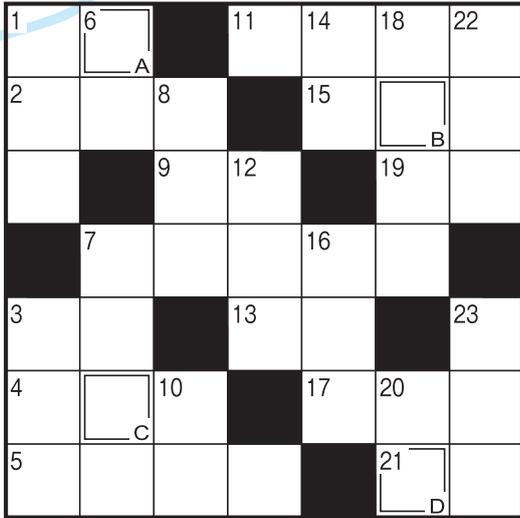
森川ひとみ

転職と自認の姫草を引く

選者 詠

【クロスワード】

二重枠に入った文字を、A→Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



今回の出題は、クロスワードパズルです。正解者には抽選で「むしパンミックス」を進呈しますので、皆さん振るってご応募ください。

【応募要項】

はがき(私製も可)に、答えと住所、氏名、年齢、職業、TEL、ご意見等をご記入のうえ、JA各支所または、企画管理課までお送りください。

e-mail・FAXでもご応募できます。

e-mail tsubasa@jaat.jagunma.net

FAX: (0279)56-4152

【締め切り】令和3年8月10日

1. 答え
2. 住所 氏名 年齢 職業 電話番号
3. ご意見等

はがきの記入例
 379-1124 渋川市赤城町滝沢
 JA赤城たちばな 六四一二
 企画管理課 行



【前号の解答】

クロスワードの答え

コドモノヒ
 A B C D E



■当選者(応募数18通)

森田良市さん 北橘町上箱田
 角田洋子さん 赤城町樽
 青木初子さん 赤城町津久田

ありがとうございました。

- ### ■ヨコのカギ
- ① 雨や日光を避けるために差します
 - ② 緑に黒のしほがある果実
 - ③ 増(ぞう)の反対語
 - ④ ヤッホーと叫ぶとヤッホーと返します
 - ⑤ 片目をパチンとつぶります
 - ⑦ キャッツアイとも呼ばれる宝石
 - ⑨ 木材を薄く加工した物
 - ⑪ 一つ目小僧とか小豆洗いとか。変化
 - ⑬ 量より重視されることでもあります
 - ⑮ 爽やかな香りのするハーブ。ペパー
 - ⑰ つば焼きにするとおいしい貝
 - ⑲ 漢字で書く雑魚。取るに足りないものこと
 - ⑳ みんな出掛けている状態
- ### ■タテのカギ
- ① 仙人が食べているというものに差します
 - ③ 学校を出て家まで帰ること
 - ⑥ 年齢を数えるときに使う言葉
 - ⑦ ラジオから1970の曲が流れてきた
 - ⑧ この虫が作る繭から絹が取れます
 - ⑩ 下から5桁目です
 - ⑫ ものは—だ、まずやってみよう
 - ⑭ サーフインやヨットを楽しむ場所
 - ⑯ 「やれ打つな蠅はえが手をすり足をすり」は小林の句です
 - ⑰ 日本髪に挿す飾り
 - ⑳ ゆでたそうめんの水を切るときに使います
 - ㉑ 親同士が兄弟姉妹です
 - ㉒ 将棋に似た西洋のゲーム

短歌

やまゆり短歌会

味噌寺の由来聴きたし花の頃
 又この山の湯の宿訪ねて

津久井ケイ

微笑を浮べて医師の告知聞く
 血尿なれば他に顔もなく

狩野 達雄

部屋の中十度にみたぬこの寒さ
 黒雲おおい風花の舞う

茂木 初江

老いて尚学びの尽きず今日二つ
 重箱読みと湯桶読みを

狩野千代子

山眠る子持嶺覆ふ雪雲は
 吾家の庭に風花散らす

津久井 都

落味噌をミックス粉と混ぜ合わせ
 春を味わう落パン作り

田子 嘉津



横一列に並んで田植えを行う児童(橘小)



笑顔が絶えない田植え(津久田小)



バケツ稲づくり挑戦(津久田小)



苗の植え方を教わる児童(橘小)



機械の速さと正確さに驚く児童ら(橘小)



田植えて楽しいね(橘北小)

泥の中で奮闘 児童らが田植え体験

管内の小学5年生が、それぞれの学校近くの水田で田植えに挑戦しました。最近では田植えの機械化が進み、手で植えることは珍しくなりました。

この実習は、作物を育てることの喜びを知ってもらおうと、先生や保護者、地域の人たちの協力のもと行われています。

昨年は新型コロナウイルスの影響で中止となり、2年ぶりの開催となりました。

児童らは、農業委員や地域のボランティアの方々から苗の植え方や成長過程の説明を受け、恐る恐る水の張った田んぼに入っていました。

最初は、自由の利かない足元に「足がぬけない」「ぬるぬるとすると悪戦苦闘していました。中には足を取られしりもちをつく児童も見受けられ

ました。慣れるに従って植える手つきも早くなり、顔や服に泥水が跳ねても気にならないくらい田植えを楽しんでいました。

また、北橘地区(橘小学校・橘北小学校)では田植え機による田植作業の見学、赤城地区(津久田小学校)ではバケツ稲づくりに挑戦。

一生懸命植えた稲は、実りの秋に稲刈りや脱穀などの収穫体験を行う予定です。



児童による田植え体験(橘北小)



農業委員さんから苗の説明を受ける児童(橘北小)